

大沢ゆたかと共に市政をかえる市民の会ニュース

立川市議会議員（「緑立川」議会報告） Tel 042-525-8637

〒190-0011 立川市高松町 2-19-1

Fax 042-525-8733

<http://homepage2.nifty.com/osawa-yutaka/>

osawa.yutaka@nifty.com

No.51

2013年11月



特定秘密保護法案に反対の声を！

衆議院で特定秘密保護法案が強行採決により成立させられてしまいました。賛成したのは自民党、公明党、みんなの党が賛成しました。この法律は国民から政府の重要な情報を隠すことを正当化することのできる法律です。

国民の知る権利を奪い、罰則も厳しいので報道や出版界にも大きな影響を与えます。マスコミ関係者はこぞって反対し、弁護士など法律に係る人たちも、多くの国民も反対を続けています。とりわけ原発事故のあった福島では原発に関する重大な情報が隠されると公聴会があったばかりであるのに、その翌日に衆議院で強行採決をしてしまいました。

軍事と外交が特に重要な秘密とされ、米軍や自衛隊に係ることはほとんど秘密にされるのではないかと心配しています。アメリカと協力して武器の共同開発をし、スパイ活動などの特定有害活動には厳しい姿勢です。しかし、アメリカは同盟国や友好国の政府首脳携帯電話まで盗聴していたというのではないですか。

首相や閣僚、副大臣、大臣政務官など政府の一部のものは秘密を自由に知ることができます。しかし、この法律に賛成した自民党・公明党、みんなの党の一般の国会議員には自由に知られることはないかもしれません。つまり、日本の政府はほんの一握りのものたちで動かされていくことになります。

これまできちんと連絡があった横田基地などで起きた事故や訓練の情報などが出なくなるかもしれない。自衛隊基地で起きていることを調べようとしたらスパイ容疑でつかまるかもしれない。市の職員もこうしたことは過剰に危惧して情報を出してくれなくなるかもしれない。とんでもない窮屈な社会になりそうです。

参議院での成立に反対していきましょう。



11月21日日比谷野外音楽堂
(レバ-初 HP より)

生活保護の引き下げに反対です

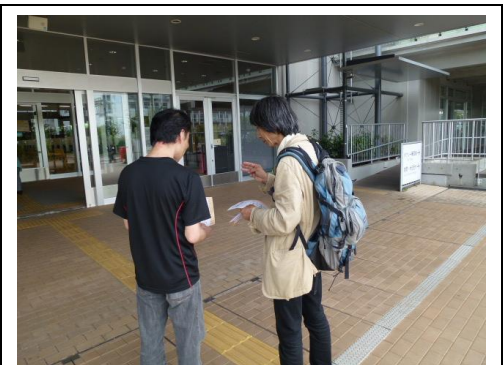
生活保護受給者は全国で215万人にもなり、日本の貧困化が進んでいます。貧富の格差が広がっています。家族の絆が崩壊し、孤立した若者はいったん仕事がなくなると、アパートにも住めなくなりすぐにネットカフェか24時間ファストフードのお店で夜を過ごさざるを得なくなり、安定した仕事もなくなると、路上生活へと移行せざるを得ない現象が起きています。

昨年からは自民党の国会議員による生活保護受給者に対する不当なバッティングが行われてきました。

テレビなどのマスコミまでもが不正受給として実例を取り上げ、結果として弱者を踏みつけにするような報道をしてきました。

いわゆる不正受給は、金額で見ると生活保護全体の0.4%ほどでした。最新の情報では増えたとしても0.49%です。増えた理由は受給者全体が増えたからということと、収入の把握が進んだからということで、その収入も就労や年金の申告をしていなかったことが70%ということでした。

この8月から生活保護の生活扶助基準が下げられました。3年間で最大10%下げようという政策です。とんでもない話です。生活保護を受けている人の後ろにはその数倍の数の貧困な人がいると試算されています。扶助費を削減するのではなく、むしろ生活保護を受けるべき人が受けられるような政策こそ進めなくてはなりません。



生保受給者に8月からの削減を説明し、審査請求ができることを説明する大沢

第3回定例会（9月議会）報告

この議会（9月議会）で出された議案では大きな問題点はありませんでした。ただ、一般会計決算の議案には以下の理由で反対をしました。

「評価すべき点として、東日本大震災被災者の支援、原発事故に伴う東京電力への賠償の姿勢、『東電からPPS事業者への契約変更』の電力改革の刷新性とその継続、保育園や学校の給食食材の放射能及び場所を定める空間放射線量の継続的な測定と公表、次世代育成支援の若者に対する政策、自転車レーンの創設、スクールソーシャルワーカーの活動の充実などがあります。しかし、認められない点として、障害者手当5、6級が前年度に続き削減されてきているということ、それから、今回の議会の中でも議論された国民健康保険の4億円もの値上げ、そして図書館を指定管理者制度へと移行していく取り組み、保育園の民営化を進める政策、北口の記念公園へ向けた横断デッキ。これについては、不要不急のデッキをつくるのではなくて、もっともって政策的な展開をやるべきだろうというふうに思います。」と発言して、決算には反対しました。

採択された陳情の一つ

●「垂直離着陸輸送機 CV オスプレイの横田基地への配備を許さない意見書の提出を求める陳情書」は全会一致で採択されました



構造的にも大変不安定なオスプレイ

●第2回定例会で採択された「婚姻暦のない母子家庭の母（非婚・未婚の母）についても税法上の『寡婦』とみなし控除を適用し、窮状を救うための手を打つように求める陳情」に関して、2014年4月から適用すると報告がありました。・・・これによって、保育園の保育料や市営住宅の家賃が通常の子家庭並みに軽減されます。

一般質問の報告

1 映像資料、教材などの16mmフィルムについて

大沢質問：一般の映画などがデジタル化されてい

き、アナログのフィルムがなくなってきているが、立川市では砂川闘争の歴史的な映像資料や教育用、児童用に多くの16mmフィルムの資料がある。フィルムや映写機、映写技術をどう継承していくかをたずねました。

立川市答弁：16mm映写機やフィルムは今となっては文化財とも言える時代になりつつある。現在440本フィルムがあり、映写機は22台が検定に合格している。柴崎学習館の閉鎖後にどのように保存していくかを検討中している。

2 子宮頸がんワクチン接種その後

大沢質問：6月議会で子宮頸がんワクチンで副反応が起きて問題になっているので中止すべきだという意見書を提出しようと議会運営委員会に提案したが、賛成少数で採択してもらえなかった。しかしその後、厚労省が6月14日にワクチン接種を「積極的には勧めない」と態度を急変させた。立川市のその後の対応は。

立川市答弁：厚労省の通知を医師会に伝え、市のホームページと広報にも掲載しました。

大沢質問：他市ではこの変更を対象者に個別通知していて、接種者が激減しているケースがあります。立川市ではどうでしたか、副反応が起きたケースはありますか。

立川市答弁：立川市は個別通知を出していませんが、副反応があったという連絡はありませんでした。

大沢質問：子宮頸がんは（その元々の原因が）性感染にあるので、女性にも男性にも性教育をすべきと考えますが、どうですか。

立川市答弁：そういう面でのきちっとした教育はしかるべきであって当然だと思います。

大沢質問：（子宮頸がんワクチンのように）世界的な製薬会社の利潤のために日本の医療行政が左右されることのないように、また病気は免疫の基本に立ち返り、無菌化や過剰な「清潔」というのではなく、私たちが生物の一つの人間であるという原点を見つめて医療行政を見直すことを求めます。

3 生活保護費の削減の影響について

大沢質問：8月から生活保護費の扶助費が削減され始めました。3年かけて10%も削減するというひどいものです。どのような世帯がどれだけ減額になったか、保護の停止、廃止になった人がいますか、また、当事者の声はどうでしょう。

立川市答弁：3人のお子さんがある母子家庭のケースで6,770円（月額）の減額でマイナス2.41%、高齢単身者では660円（月額）の減額でマイナス0.49%の例があります。廃止になったケースは1名です。当事者の声では支給日前に問い合わせがありました。支給日当日は混乱はありませんでした。

この削減に対して審査請求（異議申し立て）をすることができますが、現在4名の方が審査請求を出されています。

大沢質問：保護費の減額は他の制度への影響もあって、就学援助*などへの影響はどうなりますか。

立川市答弁：今年度については影響がありませんが、国からは「基準変更後も影響が出ないように」との通知もあり、その内容に従って行きます。

大沢質問：3月の予算委員会の時にこの基準引き下げの影響を試算した資料を出してもらいました。その時は3年間で1,800万円ほどの影響が出るという試算

がありました。就学援助、学用品の支給などに3年間で223人が対象になる。胃がん、大腸がんなどの健診では100数十人から200人の影響



毎年、1月1日に行っている生活困窮者へのお雑煮の炊き出し（緑町公園）

があり、高齢者インフルエンザでは600人ほどの影響が出るとしています。今後も受給者が増えると思いますが、どう対応されますか。

立川市答弁：立川市の生活保護の保護率は三多摩の中でも一番多く、10年くらいトップです。しかし、4月以降少し高どまりという感じです。

大沢質問：生活困窮者を排除しない、生保受給者を受け付けようとしない「水際作戦」はしないということを求めておきます。

4 横田基地問題について

大沢質問：横田基地へのオスプレイCV22の配備報道についてどの様な対応がなされたか、また、基地関連の軍属などによる傷害致死事件が発生しました。市はどのように受け止めているか。

立川市答弁：今回の報道が事実とすれば到底容認できるものではなく、配備撤回を求めて日本政府

において、米国政府に対しこれを強く求める要請を5市1町の横田基地周辺市町基地対策協議会で行ったところです。

大沢質問：横田基地では沖縄の海兵隊がやってきてパラシュート降下訓練などを行っています。先日はC130輸送機がバッテリーカバーを落としてしまったようです。

大変危険な基地です。縮小、廃止していったら、空いた土地を市民のために使った方がいいと思いますがどうですか。



C130、真っ黒い排気ガスも問題

立川市答弁：私は横田基地については日米安保条約下における基地の存在だと理解しています。

5 共通番号制度について

大沢質問：共通番号制度が成立してしまいました。新システムの導入に350億円、さらに既存システムの改修に2350億円の経費が必要だと試算されています。住民基本台帳ネットワークと同じ無駄な公共工事だと思っています。どのような制度と認識しているか、住基ネットとの関係はどうなるのか、個人情報の流出など米国、韓国での問題をどう考えているか。

立川市答弁：社会保障・税番号については行政の効率化、公正な給付と負担の確保を目的とした社会基盤の制度であり、個人情報の保護については万全の策を講ずべきと認識しています。

大沢質問：住民基本台帳制度は結局カード所持者は5%ほどでしかなく、本来の利用は進みませんでした。失敗の政策でした。今回の共通番号制度に伴うシステム改修などは以前と同じような会社が行って行くのでしょうか。

立川市答弁：立川市では現在使っている基幹系システムの方とつないでいく予定です。

大沢質問：アメリカや韓国では大量の情報流出で大変多くの被害が出ているが、その被害を誰がどう保障するのか分かっていない。集めた個人情報を民間が利用していくことになるシステムには大変危機感を覚えます。

※就学援助：経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して援助を行い、児童生徒が義務教育を等しく受けることができるようにするための制度

2013 年第 4 回定例会日程

月	日	曜日	開始時間	会議名
11 月	28 日	木曜	午前 10 時	一般質問
	29 日	金曜	午前 10 時	一般質問
	30 日	土曜		
12 月	1 日	日曜		
	2 日	月曜		—
	3 日	火曜	午前 10 時	一般質問
	4 日	水曜	午前 10 時	一般質問 議会運営委員会
	5 日	木曜	午前 10 時	議案審議等
	6 日	金曜		
	7 日	土曜		
	8 日	日曜		
	9 日	月曜	午前 10 時	総務委員会
	10 日	火曜	午前 10 時	厚生産業委員会
	11 日	水曜	午前 10 時	環境建設委員会
	12 日	木曜	午前 10 時	文教委員会
	13 日	金曜	午前 10 時	立川まちづくり 特別委員会
	14 日	土曜		
	15 日	日曜		
	16 日	月曜	午前 10 時	議会改革特別委
	17 日	火曜	午前 10 時	第 4 次基本構想 審査特別委員会
	18 日	水曜		
	19 日	木曜	午前 10 時	議会運営委員会
	20 日	金曜	議員全員協 議会終了後	議案審議・委員会 報告



地域に開かれたコミュニティーカフェを目指します

「さんきゅうカフェ」オープン!



「さんきゅうカフェ」当面木曜日に営業

昨年から開設準備をしてきたさんきゅうハウスのカフェが 9 月に営業を開始しました。さんきゅうハウスとは生活困窮者の支援の拠点です。

2012 年の暮れに羽衣町の新たな場所でホームレスの人や生活困窮者など、お風呂に入ることのできない人たちに食事や入浴サービスを提供しています。

その建物の 1 階に地域に開かれた交流の拠点としてカフェを開きました。当面、1 週間に 1 回の運営ですが、いろいろなイベントを開催しながら、地域に根付いた場所にしたいと思っています。

しかし、これまでの 3 年ほどは助成金が出ていましたが、今年度には大きな助成金がありません。運営に大変苦労しています。

市民のみなさんのご支援をお願いします。

{振込先} 郵便振替口座

口座番号：00190-2-306646

口座名：さんきゅうハウス



新さんきゅうハウスは羽衣町 3 丁目のみのわ通りに面しています